

インバウンド対応研修① 基礎知識編

- *対象者 観光産業に従事している実務者
- *時間 半日（3時間程度）
- *費用 研修運営費 ※プログラムカスタマイズ費、講師交通費・宿泊費、会場費は別途

研修の目的

観光産業の基本を理解すること

訪日外国人旅行者の受入の重要性を理解すること

訪日外国人旅行の国ごとの特徴を把握すること

我が国の成長産業の一つである観光産業。その中でも「訪日外国人旅行者」が地域に与えるインパクトは大変大きいものです。この研修では、観光産業の基本理解や外国人旅行者を受入れることの重要性を学びます。その他にも、各国旅行者の特徴の把握や観光を活用した地域づくりの事例研究なども網羅されているので、幅広く学習することが可能です。

研修の特徴

1. アクティブラーニングの活用

講義を一方的に聞くのではなく、グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションなど受講者の皆様が主体的・能動的に学習できるような環境を創出します（アクティブラーニング型研修）。

3. 経験豊富な講師陣が担当

観光産業の第一線で活動している講師が担当します。実務と理論の両方を駆使して受講生と共に双方向の学習を演出します。

2. JTBグループのノウハウを活用

観光業界で様々な経験を有するJTBグループのケースや知見を活用。観光業界の「今」を題材に実践的な学習が可能となります。



学習プロセス

観光産業の理解

インバウンドの理解

インバウンドにおける現状把握と目標設定

学習項目

日本における観光の現状

観光まちづくりと地域ブランドの構築

訪日外国人旅行者の重要性

先進地事例研究

各国別の特徴

インバウンドにおける現状把握と目標設定

プログラム例

項目	概要	時間	スタイル
日本における観光の現状	データを活用して観光産業の概況を理解します	30分	講義形式
訪日外国人旅行者の重要性	訪日外国人旅行者の概況、訪問者数の推移、今後の見通しを理解します	30分	講義形式
各国別の特徴	日本への訪問者数が多い国・地域の特徴を理解します	30分	講義形式
観光まちづくりと地域ブランドの構築	観光を活用したまちづくり、地域ブランドの構築方法を理解します	30分	講義形式
先進地事例研究	インバウンド推進で成功している事例をグループごとに研究します	20分	グループワーク
インバウンドにおける現状把握と目標設定	インバウンド推進における現状の理解と今後の目標設定を個人ワークで実施します	40分	個人ワーク

担当講師紹介



宮口 直人（みやぐち なおと）
《株式会社JTBコミュニケーションデザイン コンサルタント》

■プロフィール

大学卒業後、株式会社ジェイティービーに入社し、法人営業・顧客企業のセールスプロモーション活動に従事。その後、日本精工株式会社にて、外資系自動車会社の営業担当として、担当部品のコストダウン、生産地移管などの業務に携わる。2009年より経営コンサルタント、講師職に従事。コンサルタントとして、宿泊施設の再生、地域活性化プロジェクト、観光人材育成等の領域で豊富な経験を有する。

■経歴等

Australian Catholic University経営学修士（MBA）会計学専攻
株式会社ビズユナイテッド代表取締役（観光コンサルティング会社）
株式会社バリューシップクリエーション代表取締役（宿泊施設運営会社）
和歌山大学 国際観光学術センター客員研究員
神田外語大学講師（キャリア教育、企業分析担当）
東京国際大学講師（観光学、観光インバウンド担当）